

岩倉使節団

信徒発見

弱きものへのまなざし

聖母マリア

パードレ

踏絵・棄教

津和野

プチジャン神父

聖徳寺

浦上四番崩れ

1867年

金毘羅山

幕末・明治

丸山遊郭

出島

長崎港・大波止

清吉さん

唐人屋敷跡

入場料
無料

2025年

10/11(土)

遠藤周作原作ドラマ 上映
『女の一生・キクの場合』

映像提供(写真提供):ABCテレビ



トークショー(約30分)

長崎に生きた女性〈名もなき人〉の肖像

ラウンジコンサート
/文学カフェ

～音楽と味覚でひたる、遠藤文学の余韻～



遠藤文学と長崎学の交差点

遠藤周作を 偲ぶ一日

トークショーゲスト



長崎大学名誉教授
姫野 順一



Photo
Pierre Hybre/Leed
漫画家
高浜 寛



俳優
宮崎 香蓮

会場 ベネックス長崎ブリックホール 国際会議場

参加定員 300名

お申込締切

2025年10月1日 ※お申し込みは右記QRコードから ※超過時は抽選、当選はチケット発送をもって通知いたします



問合せ先

長崎市遠藤周作文学館

TEL.0959-37-6011

遠藤文学と 長崎学の交差点

遠藤周作(1923-1996) 小説家

代表作『沈黙』(1966)は、長崎の歴史や風景取材して執筆され、国際的に高い評価を受けています。映画化によってその魅力はさらに広まり、今も世界中で読み継がれています。
『女の一生 第一部・キクの場合』(1982)は、幕末から明治にかけての「浦上四番崩れ」を背景に、激動の時代を生きた一人の女性を描いた作品です。本作と『沈黙』、『女の一生 第二部・サチ子の場合』をあわせて「長崎切支丹三部作」と呼び、信仰と歴史の中で懸命に生きる「名もなき人々」の姿を描きました。

長崎の歴史を知れば知るほど、それを学べば学ぶほど、この街の層の厚さと面白さに感嘆した。
更に私の人生に問いかけてくる多くの宿題も嗅ぎとった。
それらの宿題のひとつ、ひとつを解くために私は『沈黙』から今日までの小説を書いてきたと言っている。
ここ十数年の間、長崎は私の心の成長に忘れることはできぬ街となった。
おいしい養分を与えてくれる母胎となっていました。

『女の一生 第一部・キクの場合』

「筆間雑話」より

遠藤周作を偲ぶ一日

見る・聴く・味わう ― 五感で楽しむ遠藤周作の世界。



市民開放企画

もっと知りたい
あなたに

※事前予約不要

10:00～11:30

遠藤周作文学館学芸員による
「作品解説&アーカイブ映像上映」
古写真パネル展
「キクがみたあの日の長崎」

上映会①

ドラマ

「女の一生 キクの場合」
一前編一ひとすじの愛

映像提供(写真提供):ABCテレビ



上映会②

ドラマ

「女の一生 キクの場合」
一後編一燃えつきた愛

映像提供(写真提供):ABCテレビ



18:35

閉会セレモニー



19:00
閉場

16:00

18:00

トークショー

長崎に生きた女性
(名もなき人)の肖像



物語にゆかりのある
津和野銘菓や
遠藤文学をモチーフ
にしたドリンクも!

途中退席・再入場可



映像提供(写真提供):ABCテレビ

<ドラマ概要>

『女の一生 キクの場合』

原作:遠藤周作 脚本:野上龍雄
制作:ジェイミック/ABC(朝日放送)

内容:前編「ひとすじの愛」、
後編「燃えつきた愛」からなる
2部作(各106分)。
幕末から明治初期の長崎を舞台に、
時代に翻弄されながらも力強く
生き抜いた女性・キクの人生を
描く、遠藤周作原作の感動作。

<主な出演者>主演の小泉今日子
(キク役)をはじめ、永島敏行、津川
雅彦、小林聡美、樹木希林など、幅広い
世代に親しまれる豪華俳優陣が出演。



トークショー

長崎に生きた女性〈名もなき人〉の肖像

遠藤周作原作ドラマ『女の一生 キクの場合』を手がかりに、
幕末から明治を生きた女性の姿を語ります。歴史研究者、
漫画家、俳優という異なる専門分野の語り手が集い、
作品の世界と当時の長崎を多角的に読み解きます。



俳優・島原市出身
宮崎 香蓮

島原市出身。映画や
ドラマで幅広く活躍。
地元・島原市出身の
俳優として、作品世界に
共感を寄せ、女性の
生き方を自らの視点
で語ります。



漫画家
高浜 寛

天草市出身。『ニクスの角灯』
で手塚治虫文化賞を受賞。長崎
三部作など女性の生き方を
描き続けてきた。キリシタン史
への取材活動がバチカンから
注目され、2025年大阪・関西
万博バチカン親善大使に任命。



長崎大学名誉教授
姫野 順一

「長崎学」を提唱。歴史
研究の第一人者として、
幕末から明治にかけて
の長崎の社会背景を
解説し、遠藤文学の舞台
となった時代を深く
掘り下げます。



古写真パネル展「キクがみたあの日の長崎」

幕末から明治の長崎を古写真で紹介。ドラマ
『女の一生 キクの場合』の舞台背景と重ね、
当時の暮らしを体感できます。会期前からブリック
ホール玄関に掲示し、物語の世界を先取り。



ラウンジコンサート

～音楽と文学が響き合うひととき～

遠藤周作の作品世界とモーツァルトの音楽を
重ね、心に残る特別な時間をお届けします。
長崎出身の俳優・宮崎香蓮による朗読と、ピアノや木管五重奏の
生演奏が織りなす、物語の情景を五感で体感できるひとときです。



朗読 宮崎 香蓮
(俳優・島原市出身)
映画やドラマで幅広く
活躍。地元・島原市出身
の俳優として、今回の
朗読で物語世界を
鮮やかに届けます。



ピアノ 中村 卓士
(諫早市出身)
ウィーン、パリで研鑽
を積み、国内外のコン
クールで受賞歴多数。
九州を拠点に演奏活
動を展開。



木管五重奏
てんとうむし
長崎県内外で活動する
若手演奏家による
アンサンブル。クラ
シックから親しみやす
い曲まで幅広く演奏。



文学カフェ～味覚で楽しむひととき～

休憩時間には、津和野銘菓やイベント限定のオリジ
ナルドリンクをご用意。さらに、香り高いコーヒーや
お茶も無料でお楽しみいただけます。文学と音楽の
余韻を味覚でも味わえる特別な体験です。

会場 ベネックス長崎ブリックホール 国際会議場

お申込締切

2025年10月1日 ※お申し込みは右記QRコードから

参加定員 300名

※超過時は抽選、当選はチケット発送をもって通知いたします



問合せ先

長崎市遠藤周作文学館

TEL.0959-37-6011

主催:文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会